

# 目黒労協 2021秋季年末闘争ニュース

No.21-01 2201年12月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール [union@r05.itscom.net](mailto:union@r05.itscom.net)

## 勤労感謝の日、中目黒駅前以最賃宣伝

11月23日(勤労感謝の日)、目黒労協は最低賃金宣伝行動を正午から、中目黒駅前で実施。午後労働相談などもあり短時間でしたが、ティッシュ440個すべて配り終えました。中目黒は観光地になったのか?おだやかな日よりで、人出も多く、宣伝参加者も約20名超で行いました。10月1日から東京都の最低賃金は1041円。これを広めさらに1500円を目指します。米・独など各国で最賃は、15ドル・12ユーロと上げが続いています。



## 行ってきました「弘法山・吾妻山」ハイキング

11月20日(土曜日)、久しぶりの目黒労協レクリエーション企画。弘法山ハイキング、小田急秦野駅に午前10時集合。日本百名水のひとつ弘法湧水に寄ってから急坂を登り弘法山公園～弘法山山頂～吾妻山、そして鶴巻温泉に降りて一浴。午後4時30分散会、18名無事帰路につきました。



## 再開! JAL 争議品川港南口宣伝

10/26、11/29と恒例のJAL争議宣伝、都内一斉駅頭宣伝が数ヶ月ぶりに再開。この間はコロナ緊急事態宣言で中止が続いていました。久しぶりの品川駅港南口、サイレントスタンディングには、両回とも都内南部各組織、20名以上結集しました。11/6の目黒労協大会でも報告がありましたが、現在解雇165名中4名は地上職などで復帰。しかしまだ解決に至っておらず闘いは続いています。



## 「9の日」合同宣伝行動

11月9日、9条の日。学芸大学駅前、区内9条の会合同宣伝行動。総選挙結果、改憲勢力は3分の2超に増加。改憲発議許すな、核兵器禁止条約への参加を訴えました。労協関係者も多数参加しました。



## 目黒労協第70回定期大会開催

11月6日(土)、午前10時より目黒地区労働組合協議会第70回定期大会が、土建目黒会館で開催されました。昨年に続きコロナ感染対策として、大会代議員は加盟労組各1名とし、16労組中9名参加(別に委任状を5労組からいただきました)、役員・JAL 争議団(物資販売も)とあわせ21名が参加。来賓などは招待せずメッセージで。時間短縮の大会運営でしたが、新規加盟の目黒自動車交通労組含め、出席全労組から発言いただき、方針・予算など確認、新役員選出後、正午前に終了しました。



—以下記録です。—

**出席状況**：事務局次長より報告、代議員定数16名中9名参加で大会は成立(\*定数の過半数)、なお委任状は5労組より提出されている。

**議長選出**：立候補なく、目黒区職労代議員を拍手で選出。

**議長**：コロナ対策 12時まで終了・採決は慣例により拍手で行う。

**大会運営役員**：議事運営委員、選挙管理委員、大会書記をそれぞれ提案し拍手で承認。

**労協議長挨拶**：近秋をもって労協議長交代予定。

総選挙結果 このままでは安倍路線を継承した岸田政権になる。

コロナ過で、本当に食べれない人が出てきている。だれも見捨てない労協の役割重要。

JAL 争議団もお越しいただいているが、結果として解決していない。今後も支援しよう。

**議長**：来賓・争議団は招待していない。メッセージは資料参照を。東京都労働相談情報センター大崎事務所より来訪(取材)されているので紹介。

**議事運営委員会・選挙管理委員会**より、運営に関する内容を、それぞれ報告。

**経過報告**：労協副議長(めぐろユニオン) 議案書に沿って報告、はじめに～各労組の合理化に対する取組み～年末カンパ～目黒区「公契約」の取り組みなど。労協新規加盟あり、目黒交通労組の闘いを紹介。コロナ過でレク活動できなかったが11月に久しぶりにハイキング企画、ぜひご参加を。

**決算報告**：労協事務局次長(\*会計が多用のため代理で報告)

**収入**：昨年からの繰り越し5万円余、今期収入は338万円余。労金労組目黒支部の移転に伴う脱退対応完了し、労協会費過去未納分が一括納入された。次年度繰り越し分は22万円余。

**支出**：金額大きいのは事務局手当(日当)で、昨年の大会で1日1000円を減額している。事務所

負担費は、JIMTU 目黒地域支部の事務所を 5 万円/月で借りている形に。

**監査報告**：労協会計監査（愛隣会分会） 監査結果 適正

**運動方針**：労協事務局長（東工大職組）、コロナ状況は国により再拡大の状況も。ワクチン接種もアフリカなど 1% 台の地域も。国内でのコロナ解雇はまだまだある。シフトを減らされ賃金減額、本日参加のタクシー業界なども。来年度も現場の声聞きながら、労協の取り組み強化必要。企業は内部留保を増やしている。

岸田政権も、「分配なくして成長なし」が、就任演説では「成長なくして分配なし」に。アベノミクスの「トリクルダウン」踏襲でしかない。労働者が声をあげねば変わらない。要求はわがままではない。総選挙結果を経て、「中小企業に対する助成が手厚すぎる」として、中小企業再編をまた言い出している。外資が中小企業を買い取り再編する流れで、安倍・菅政権に引き続き再燃させようとしている。



昨年来、労協としても取り組み強化している課題にも引き続き取り組む。都立病院の独立行政法人化は、「稼がなければいけない」病院経営が始めってしまう。目黒区では、保育園民営化を「予算がない」で進めているが、これからも運動続く。労協組織拡大強化は、全体でも労組数減少している中で、組織化の課題需要。具体的な基本要件は議案参照を。

**予算案提案**：労協事務局長：会費の減少が確実に、今後もこの傾向が続く。そのため財政方針として、専従体制を維持追求、従来同様の春闘カンパ、事務局経費削減継続を追求する。

**休憩**：議長より「休憩終了までに役員立候補届提出を」。また、JAL 物販よろしく！

一午前 11 時 再開

**議長**：それぞれの報告・提案に対し、特に質疑なければ職場報告を、順次指名する。

**討論**：\*代議員よりの発言

**めぐろユニオン**：私も 63 才だが、組合の中では数少ない現役。月々の例会も開けず、定期大会も 12 月にやっと開催予定。その中でもこの間、1 名の新規加入あり。

**大東通信機労組**：9/30 定期大会、自分が委員長になった。コロナ禍の中、会社との交渉もままならず、しかし売り上げ好調で職場忙しく、夏季一時金は増額獲得できた。年末も交渉強化を予定。この間、組合内交流ができていないので、今後は取組みたい。

**JMITU 目黒地域支部**：10/1 に定期大会開催。支部の平均年齢は 70 歳を超えた。活動はコロナで出来ず、どう立て直すか。ダイヤ分会定期大会も終え、年末要求も 2 か月で提出。11/11 回答期限。今後は地域支部として、ダイヤ分会との交流を図りたい

**目黒区職労**：人事委員会答申を妥結し、月例給はそのまま、ボーナスは前年より 0.15 か月減に。しかし、「月 3000 円の組合費を生活費に回したい」と、組合員の脱退も。

**愛隣会分会**：コロナ禍で活動できず、慰労金として組合から各組合員に返却する機会を設けたら、組合員全員が集まった。この間、法人の動きは特にない、夏季一時金締結の際、「何かありますか」と聞くと、「実は計算しちゃったんだよね」と。組合を「なめられている」感。年末闘争はちゃんとやりたい。

**都教組目黒支部**：オリパラ学校連携観戦運動 全都でも最も早く中止を勝ち取った。地域の力を見直した。今、中学校統廃合計画が再燃、統合されると 30 分以上歩かないと通えないように。

少人数学級がコロナで必須のはずだが、10年前の計画ベースで進まず。

**目黒自交労組**：昨年のコロナ禍を発端にした争議の早期解決に、目黒労協にも支援いただいた。従業員170人以上だったのが、今は半分以下に。組合員は、一時期10名が現在15名に。でも組合費の月3700円が惜しい、という人も少なくない。タクシー業界では、歩合給が基本。現在は雇用調整助成金で助かっているが、今のところは12月まで。各社ばらばらで、もう打ち切っているところも。来年も延長の動きがあり、会社との交渉でも要求する。JAL争議の早期争議解決を望む。

**東京土建目黒支部**：この間、資材価格3割以上アップ。受注不足・担い手不足も。仕事とるために、自営業者の努力も必要。他方で、例えば解体業では14日以内にアスベストなど看板を作らねばならないなど、規制強化も。土建目黒支部は今回、4%の組合員拡大を達成したが、業界全体の経費削減して受注する状況などは、さらに世間にもアピールしていきたい

**東工大職組**：組合に労働相談あり、研究プロジェクトで採用の事務職の方、英語堪能で採用され活躍。プロジェクト終了で契約終了？という。これでいいのか。有期契約での採用は、事務職でも多数応募あるので、大学当局は世の中での人材不足を知らず、胡坐をかいていると思う。コロナクラスターは大学では出ていないが、おそろおそろ今年度後半から対面授業の再開が始まっている。コロナワクチン会場として8・9月末、職員学生接種と合わせて地域接種も提供(モデルワクチン)、私も接種後ワクチン特別休暇活用した。

### 事務局長まとめ

9労組から発言、職場報告いただいた。高齢化問題、目黒労協も共通、土建さんに学んで組織拡大・後継者育成取り組みたい。学校統廃合、都教組さんから発言いただいた。労協としても取り組んでいきたい。東工大 10 数年働いてきた人、雇止め問題で相談受けたところ。



**議長：議案採決**：拍手で承認

**役員選挙**：選管から名簿配布。投票方法について、選挙規定7条2項に信任投票規定があり、定数内なら投票省略の規定あり。今回の立候補は「定数内」なので、投票を省略し進めること、議長に一任したい。

**議長：信任投票**：「投票省略」、「拍手で信任」の承認を→それぞれ拍手で承認。

**新旧役員紹介**：新議長から、役員紹介。

**退任のあいさつ**：退任議長より、東京土建目黒も人は増えているが、役員確保たいへん今後も目黒支部役員続けるし、労協にもお手伝いしていきたい。

**大会スローガン**：執行委員にて読み上げ提案、拍手で確認。

**JAL 争議団より**：解雇165名中4名、地上職などで復帰。今後も早期解決に向け闘争続ける。

**大会宣言**：執行委員にて読み上げ提案、拍手で確認。

**議長解任挨拶**：区職労も役員高齢化、コロナ禍でオンライン会議進む。「Wi-Fi」導入し、光回線入れてと、2年間で大きく変わったのは、コロナで唯一、良かったところ。

司会：区役所の過労死ラインを超える長時間勤務。保育園看護師の昼は保育園で夜は役所で仕事。エッセンシャルワーカーしか働いていない世の中は、変ではないか。

**団結ガンパロー**、で正午前散会しました。